

芸森便り

術の小り

HP はこちらから



学校だより
令和7年9月26日
特別号



令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果より

6年生を対象に実施した標記調査の本校の結果と今後の取組について全家庭にお知らせいたします。なお、本調査で把握できるのは、学力全般の一部分であり、学校の教育活動の一側面であることをご理解ください。また、この文書は、本校ホームページにも掲載しています。

【国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の調査結果の概要	今回の調査における成果と課題	改善の方向
【学習指導要領の領域等】 □「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均に比べ、下回っている。 □「我が国の言語文化に関する事項」 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「読むこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと ○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと ●事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること ●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること	☆情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う指導を充実させる。 ☆インタビューをする際には、意図を明確に表現させる。また、友達と交流し意図の違いを着目できるようにする。 ☆事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する指導を充実させる。 ☆長文を読み取る機会を増やす。 ☆目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける指導を充実させる。
成果○ 課題● として記述しています。		

【算 数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の調査結果の概要	今回の調査における成果と課題	改善の方向
【学習指導要領の領域等】 □「数と計算」 ・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。	●分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを記述すること ●数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること	☆分数の加法について、数の表し方の仕組や数を構成する単位に着目し、既習の整数の加法に帰着できるようにする指導を充実させる。 ☆数直線上の目盛りが表す数を分数で表すことで、分数の意味や表し方について理解を深めることができるようにする指導を充実させる。
□「図形」 ・全国平均に比べ、下回っている。	●平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図すること ●台形の意味や性質について理解すること ●基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を記述すること	☆作図の仕方と図形の性質を関連付けて、図形の性質についての理解を深めることができるようにする指導を充実させる。 ☆図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質に基づいて図形を弁別できるようにする指導を充実させる。 ☆多角形の面積の求め方について、基本図形の面積の求め方を基に考察できるようにする指導を充実させる。
□「測定」 ・全国平均に比べ、下回っている。	●はかりの目盛りを読むこと	☆はかりを用いて重さを測定する際に、最小目盛りの大きさを考えて目盛りを読むことができるようにする指導を充実させる。
成果○ 課題● として記述しています。		

【理 科】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の調査結果の概要	今回の調査における成果と課題	改善の方向
【学習指導要領の領域等】 □「エネルギー」を柱とする領域 ・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。	●電気を通す物と磁石に引き付けられる物に関する知識を身に付けること	☆学習した知識を身の回りで見られる事物・現象と関係付けたり、様々な内容で習得した知識を整理したりして、物質の性質に関する理解を深める活動を充実させる。
□「生命」を柱とする領域 ・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。	○顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能を身に付けること ●種子の発芽の条件について、既習の植物の発芽の条件との差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること	☆考えたことを科学的な言葉を使用して表現する活動を充実させる。 ☆差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、問題を見いだすことができるようにする活動を充実させる。
□「地球」を柱とする領域 ・全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。	○変える条件と変えない条件を整理しながら、赤玉土の量と水の量を正しく設定した解決の方法を発想し、表現すること ○水のしみ込み方の違いについて 【結果】や【問題に対するまとめ】 を基に、他の条件での結果を予想して、表現すること	☆今後も実験結果を言葉だけではなく、図解したりグラフ化したりするなど、様々表現方法を尊重する。また、実験結果を一般化したり、複数の事象を統合したりして、概念的知識の習得ができるようにしていく。
成果○ 課題● として記述しています。		

★全国に比べて、正答率が下回っている問題

国 語	算 数	理 科
○ 1 二	○ 1 (2)	○ 2 (1)
○ 1 三 (1)	○ 2 (1)	○ 2 (4)
○ 3 二 (1)	○ 2 (2)	○ 3 (1)
○ 3 二 (2)	○ 2 (4)	○ 3 (3)
	○ 3 (2)	○ 3 (4)
	○ 3 (3)	○ 4 (3)

※調査問題や解答例に関しましては、国立教育政策研究所のHPをご覧ください。

【質問紙調査】

令和7年度の調査では、71項目に渡って生活習慣、学習意欲、学習方法、学習環境等についての質問紙調査も実施されました。ここでは、全国平均と比較して特徴的だと思われる項目をお知らせいたします。

★全国に比べ、肯定的に回答した割合が高い質問項目

- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- ・分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- ・読書は好きですか
- ・これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか
- ・5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- ・あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか
- ・5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。
➡（2）分からないことがあった時に、すぐ調べることができる
- ・5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- ・国語の勉強は得意ですか
- ・国語の授業の内容はよく分かりますか
- ・理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- ・自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか
- ・理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えていますか
- ・理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか

【傾向と分析】

- 自分と違う意見を楽しみながら取り入れたり、学び方を工夫したりすることができている。
- 読書好きな児童が多い。
- 豊かな自然環境を活かした遊び方や学び方をしている。
- ICT機器の活用は、全国に比べて肯定的な回答が多い。特に、分からないことがあった時にすぐに調べることができたり、自分のペースで学習を進められたりすることに、よさを感じている。
- 「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する」など、学習サイクルについて肯定的な回答が多い。学び方についても、自分に合っているとの自己評価がなされている。
- 国語や理科については、どの項目も肯定的な回答が多い。一方で算数については、否定的な回答が多く、得意・不得意によって明確に分かれている。

★全国に比べ、肯定的に回答した割合が低い項目

- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- ・算数の勉強は得意ですか
- ・算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
- ・小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか

【傾向と分析】

- 授業時間以外の勉強時間が全国に比べて短い。学習塾や家庭教師なども活用していない家庭が多い現状がある。
- 「読書好き」は多かったものの、家庭にある本の冊数は全国に比べて少ない。
- ICT活用についても概ね肯定的な回答が多かったが、「友達と協力」して学習を進める使用法は活用しきれていない様子。
- 教科によって、得意・不得意が明確。特に算数は苦手意識が強く、分からない問題をすぐにあきらめてしまう傾向がある。